

株式会社 ファンケル

Communication on Progress

2018 年度

対象期間：2018 年 4 月～2019 年 3 月

担当者連絡先

株式会社ファンケル CSR 推進室 小倉 悦子

E-mail etogura@fancl.co.jp

Tel045-226-1943 Fax 045-226-1203

ファンケルは創業以来、世の中の「不」のつく事柄の解消を目指し、常に実直な経営のもと、高い透明性をもって、化粧品やサプリメントなど、「美と健康」に関連する製品やサービスを提供しております。

2018年6月には、「サステナブル宣言～未来を希望に～」を策定し、「環境を守る」、「健康に生きる」、「多様性を認め合う」、「ガバナンス強化」の4つを重点テーマとして、公表しました。

これまでも、ファンケルは「正義感を持って、世の中の『不』を解消しよう」という創業理念に基づき、社会貢献や環境活動に積極的に取り組んでおりましたが、「サステナブル宣言」の策定を機に、より一層、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

そして、「サステナブル宣言」を実行することによって、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」にも、参画してまいります。

ファンケルは、事業を通して社会的責任を果たします。具体的には、創業の原点である、高品質で安心・安全な「化粧品」を世の中に提供し続けるとともに、「サプリメント」のパイオニアとして、確かな機能を持つ高品質な製品、サービスを開発し、世界中の人々の健康寿命の延伸と医療費の削減に努めてまいります。

島田 和幸

島田 和幸 (Kazuyuki Shimada)

代表取締役 社長執行役員 CEO

(President & CEO, Representative Director)

ファンケルグループ「サステナブル宣言」 (2018年6月策定)

未来を希望に

ファンケルは「正義感を持って世の中の「不」を解消しよう」という創業理念に基づき、地球環境、社会課題など「未来への不安」に立ち向かい、ステークホルダーとともに「希望」をつくります。
現在と未来に生きる人々の笑顔のために、持続可能な社会を目指します。

【重点テーマと、対応する SDGs 目標】





「環境を守る（E）」、「健康に生きる（S）」、「多様性を認め合う（S）」、「ガバナンス強化（G）」の4つを重点テーマとしました。





※ESG（Environment Social Governance）にも準じて設定しています。











環境を守る【E】

- ＜方針＞ ・パリ協定に基づき、2030 年度までに、CO₂ 排出量 △26%削減（2013 年度比）
 ・環境の「製品対策」と「啓発活動」を強化し、ブランド価値向上と売上拡大を目指す





項目	取り組み内容
<p>1 温暖化対策の推進</p> <div data-bbox="315 518 456 655"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div data-bbox="315 695 456 833"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div data-bbox="315 888 456 1026"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> <div data-bbox="315 1082 456 1219"> <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>  </div>	<p>■ 群馬工場に太陽光パネル設置</p> <p>2011 年に、滋賀工場に太陽光発電システムを導入。2018 年度 6 月には、群馬工場に設置。2つの工場のシステムを通じて、年間 47 万 kWh の発電を行い、205t の CO₂ 排出量削減見込み。</p> <p>■ 従業員が、家庭で CO₂ 排出量を削減する施策「家庭でエコプログラム」を実施</p> <p>「家庭でエコプログラム」とは、家庭で使用した電気、ガス、水道の使用料金が、総務省発表の数値を 5% 下回れば、ギフト券を支給する制度。従業員は家族と、楽しく環境活動に取り組んでいる。</p> <p>【2018 年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂ 排出量削減に成功した従業員数：630 人 ・CO₂ 排出削減量：329.7 トン

2	<p>環境配慮の製品開発を強化</p> <div data-bbox="331 300 468 435"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div data-bbox="331 475 468 619"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div data-bbox="331 659 468 802"> <p>14 海の豊かさ を守ろう</p>  </div> <div data-bbox="331 842 468 986"> <p>15 陸の豊かさ を守ろう</p>  </div>	<p>■製品、営業ツールの紙を環境配慮紙(FSC認証紙など)に順次切り替え。2020年までに、すべて切り替え予定</p> <p>■直営店舗のポリエチレン製のお買い物もの袋を廃止、FSC認証の紙袋に切り替え</p> <p>■化粧品容器で植物由来プラスチック採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイルドクレンジングシャンプー」「モイストボディウォッシュ」は、リニューアルによって、ボトル樹脂量を従来品より60%削減。「植物由来プラスチック」100%採用により、年間CO2排出量を、40t削減見込み。 ・主力のスキンケアラインである、「モイストリファイン」「エンリッチ」は、リニューアルによって、「植物由来プラスチック」を採用し、プラスチック量を従来品より3分の1に削減。それぞれ、年間300tのCO2量削減見込み。 <p>■社内勉強会を積極的に開催</p> <p>①FSC認証紙セミナー（2018年5月30日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：81人 ・講師：FSC ジャパン 岩瀬 泰徳氏 <p>②ESG投資セミナー（2018年8月6日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：50人 ・講師：有限責任監査法人トーマツ 三浦 充美氏
---	--	--

2	<p>環境配慮の 製品開発を強化</p> <div data-bbox="360 328 501 467"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div data-bbox="360 507 501 647"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div data-bbox="360 695 501 834"> <p>14 海の豊かさ を守ろう</p>  </div> <div data-bbox="360 874 501 1015"> <p>15 陸の豊かさ を守ろう</p>  </div>	<p>③企業に求められる「サステナブル経営」(2018 年 9 月 6 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 : 54 人 ・講師 : 関東学院大学 副学長 経営学部教授 小山 厳也氏 <p>④「企業価値」と CSR 視点の研究開発 (2018 年 9 月 12 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 : 86 人 (研究員) ・講師 : ファンケル社外監査役 南川 秀樹氏 <p>⑤サステナブルなブランドは、生物多様性を守る (2018 年 11 月 9 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 : 69 人 ・講師 : (株)レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹氏 <p>⑥「企業価値」と CSR 視点の研究開発 Part II (2018 年 12 月 13 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 : 69 人 (研究員) ・講師 : ファンケル社外監査役 南川 秀樹氏 <p>⑦「企業価値」と CSR 視点の購買調達 (2018 年 3 月 15 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 : 60 人 ・講師 : ファンケル社外監査役 南川 秀樹氏
---	--	---



3	<p>お客様へ環境情報 発信強化</p> <div data-bbox="327 325 468 459"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div data-bbox="327 504 468 638"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div data-bbox="327 692 468 826"> <p>14 海の豊かさ を守ろう</p>  </div> <div data-bbox="327 871 468 1005"> <p>15 陸の豊かさ を守ろう</p>  </div>	<p>■「FANCL エコマーク」を制定（2018 年 7 月）</p> <p>お客様に環境配慮の製品を選択していただくため、独自の環境基準を満たす、製品、営業ツールに「FANCL エコマーク」掲載する。</p> <p>■お客様向け「HAPPY エコサイト」をスタート（2018 年 7 月）</p> <p>ファンケルの環境活動を、分かりやすく紹介するサイトを公開。 https://www.fancl.jp/happy_eco/index.html</p> <p>■コミュニティサイト fanclpark で、森林保全チャリティーを実施</p> <p>実施期間：2018 年 6 月 28 日～2019 年 3 月 31 日 寄付総額：150 万円 寄付先：NPO 森づくりフォーラムを通じて、下記 8 団体へ寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> ① NPO 法人 森の生活（北海道） ② NPO 法人 いわて森林再生研究会（岩手県） ③ NPO 法人 よこはま里山研究所（神奈川県） ④ NPO 法人 信州フォレストワーク（長野県） ⑤ NPO 法人 里山倶楽部（大阪府） ⑥ NPO 法人 ひろしま人と樹の会(広島県) ⑦ 一般社団法人 かみかつ里山倶楽部（徳島県） ⑧ NPO 法人 山村塾（福岡県）
---	--	--





4	<p>外部表彰</p> <div data-bbox="327 212 468 347"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div data-bbox="327 391 468 528"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div data-bbox="327 576 468 713"> <p>14 海の豊かさ を守ろう</p>  </div> <div data-bbox="327 756 468 893"> <p>15 陸の豊かさ を守ろう</p>  </div>	<p>■ 2018 日本パッケージングコンテストで「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞 (2018 年 8 月 29 日)</p> <p>【受賞内容】</p> <p>「マイルドクレンジングシャンプー」「モイストボディウォッシュ」は、リニューアルによって、ボトルの樹脂量を従来品より 60%削減したことにより、1 本あたりの樹脂量を 20 g 削減した。また、ボトルは「植物由来プラスチック」を 100%採用し、CO2 排出量を年間約 40 t 削減（見込み）したことによる、環境適合化が評価された。</p> <p>・主催：公益社団法人 日本包装技術協会</p> <p>■ 第 19 回グリーン購入大賞で「大賞」を受賞（2018 年 12 月 7 日）</p> <p>【受賞内容】</p> <p>ファンケルの「化粧品」や「健康食品」は、原料の半分以上が生物資源である。調達に伴う環境リスクをふまえ、「持続可能な調達基本方針」に環境配慮、人権の保護、遵守状況の確認を追加し、取引先 880 社へ通達するなど、サプライチェーン全体で行う、持続可能な調達が評価された。</p> <p>・主催：グリーン購入ネットワーク（GNP）</p>
---	--	--

健康に生きる【S】

- ＜方針＞ ・ファンケルグループ「健康経営宣言」に基づき、健康経営を推進
・健康事業を広く展開し、未病、健康寿命の延伸に貢献

項目	取り組み内容
<p>1 健康経営の推進</p> <div data-bbox="331 496 479 635"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="331 655 479 799"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div>	<p>■ファンケルグループ「健康経営宣言」を実行</p> <p>2017 年 8 月に制定した、ファンケルグループ「健康経営宣言」に基づき、従業員の ① 働き方改革、②休み方改革、③心の健康対策、④身体の健康対策、を推進</p> <div data-bbox="638 603 1966 1241" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ファンケルグループ「健康経営宣言」</p> <p>＜スローガン＞ 「私たちが美しく健やかであること それは何よりの証明です」</p> <p>＜健康理念＞ 美と健康のファンケルグループは「従業員の健康」がすべての基盤であるという認識のもと、健康食品業界のパイオニアとして、健康第一の風土づくりと健全な経営を推進し、新しい価値の創出と「不」の解消に挑み続けます。</p> </div>


1	<p>健康経営の推進</p> <div data-bbox="340 220 490 359"> <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="340 375 490 518"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div>	<p>■ 社内で従業員向けの「ファンケル健康フェス」を開催（2019 年 2 月 15 日）</p> <p>社内で健康イベントを行い、従業員が、自身のカラダや生活習慣について考える機会を提供。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 女性ホルモンに関するセミナー ② 乳がんに関するセミナー ③ 正しい健康診断の結果の見方 ④ からだチェックコーナー <ul style="list-style-type: none"> ・カロテノイド測定・骨健康度測定・血管観察・疲労ストレス測定・握力測定・体組成測定 ⑤ こころと身体の相談会 <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：延べ 270 人 ・講師、カウンセラー：総合研究所 ヘルスサイエンス研究センター 研究員 健康経営推進事業部 健康カウンセラー グループサポートセンター 人事部 健康支援室 保健師 <p>■ メンタルヘルスの実施</p> <p>管理職向けに「労務管理に関する研修」を実施。社内の相談体制として人事部、産業医、保健師との連携によるケアを実施。また、外部機関と提携しメンタルヘルスカウンセリングを実施。本社には保健師 5 人を常駐し、メンタルヘルスケア・生活習慣病などに関する相談に応じている。他サイトでも産業医が月 1 回巡回で対応している。</p>
---	--	--




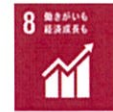



1	健康経営の推進	<div><div>3 すべての人に健康と福祉を</div><div>8 働きがいも経済成長も</div></div> <div>■「セルフケアとハラスメント防止研修」実施</div> <p>従業員がストレスに振り回されずに対処できるよう、職場でいきいきと過ごすトレーニング法を学ぶ。ハラスメントを正しく理解し、ひとり一人が意識を持ってハラスメントのない職場づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・実施期間／回数：2019 年 1 月 7 日～2 月 13 日／計 35 回・受講者数：約 1,000 人・講師：ヒューマンフロンティア株式会社 <div>■社員食堂「ファンケル学べる健康レストラン」の運営</div> <p>社員食堂の「ファンケル学べる健康レストラン」のメニューには、塩分量、カロリー、野菜量などファンケル独自の「8 つのこだわり」あり、神奈川県が未病産業関連の優れた商品・サービスを認定する、「ME-BYO BRAND」に認定された。</p> <div><div></div><table><tr><td>こだわり1 塩分 2g以下</td><td>こだわり2 適正カロリー</td><td>こだわり3 脂質 コントロール</td><td>こだわり4 野菜量 120g以上</td></tr><tr><td>こだわり5 食物繊維 6g以上</td><td>こだわり6 抗酸化力の高い 青汁 を使用</td><td>こだわり7 肥満になりにくい 発芽米 を使用</td><td>こだわり8 栄養バランス</td></tr></table></div>	こだわり1 塩分 2g以下	こだわり2 適正カロリー	こだわり3 脂質 コントロール	こだわり4 野菜量 120g以上	こだわり5 食物繊維 6g以上	こだわり6 抗酸化力の高い 青汁 を使用	こだわり7 肥満になりにくい 発芽米 を使用	こだわり8 栄養バランス
こだわり1 塩分 2g以下	こだわり2 適正カロリー	こだわり3 脂質 コントロール	こだわり4 野菜量 120g以上							
こだわり5 食物繊維 6g以上	こだわり6 抗酸化力の高い 青汁 を使用	こだわり7 肥満になりにくい 発芽米 を使用	こだわり8 栄養バランス							
2	健康経営推進事業の展開	<div><div>3 すべての人に健康と福祉を</div><div>8 働きがいも経済成長も</div></div> <div>■健康事業で培ったノウハウを生かした「健康経営推進事業」を展開</div> <p>健康事業で培った研究成果とノウハウで、外部の健康経営をサポートする、健康経営推進事業を展開。管理栄養士、健康運動指導士、学術専任講師による、実践型の健康セミナーをニーズに合わせた組み合わせで、提供している。</p>								





<p>3</p>	<p>健康の研究・ 製品開発</p>    	<p>■独自の「体内効率」設計を採用した、サプリメントを提供</p> <p>ファンケルのサプリメントは、体の中で効率的に働く溶け方や、組み合わせまでを研究し、栄養を必要な場所に届ける「体内効率」設計を採用。</p> <p>・研究開発情報 https://www.fancl.co.jp/healthy/kodawari/index.html</p> <p>■健康食品事業 25 周年事業メッセージを発信（2019 年 2 月）</p> <p>健康食品事業25周年を迎え、新たな事業メッセージ「たのしく生きる 健康100年時代へ」を制定。</p> 
<p>4</p>	<p>外部表彰</p>  	<p>■日経スマートワーク大賞 2018 で「審査委員特別賞」を受賞（2018 年 2 月 23 日）</p> <p>【受賞内容】</p> <p>直営店舗契約社員を正社員化（地域限定正社員）、直営店舗以外の有期雇用契約社員・パート社員の無期雇用化、再雇用の年齢制限を撤廃（アクティブシニア制度）など、人材活用を高めるための取り組みが評価された。</p> <p>・主催：日本新聞社</p>

多様性を認め合う【S】

- ＜方針＞ ・スローガン「みんな違ってあたりまえ」に基づき、ダイバーシティを推進
・障がい者の雇用促進と自立支援、社会貢献活動を推進

項目	取り組み内容
<p>1 ダイバーシティの推進</p> 	<p>■ファンケルグループ「ダイバーシティ推進スローガン～みんな違ってあたりまえ～」を実行</p> <p>2017年11月に制定した、ファンケルグループ「ダイバーシティ推進スローガン」に基づき、「ダイバーシティ経営」を推進する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ダイバーシティ推進スローガン</p> <p style="text-align: center;">『みんな違ってあたりまえ』</p> <p>「人間大好き企業」のファンケルグループは、『みんな違ってあたりまえ』というスローガンのもと、様々な価値観や考え方を持つ多様な人材が個性や能力を発揮し、新しい価値を生み出し続けることを目指しています。</p> </div> <p>■2019年4月から「アソシエイト正社員」の新設を発表</p> <p>アソシエイト正社員は、介護や長期療養が必要な身体の病気、身体障がいを抱える方が、本人の希望する時間や日数でフレキシブルに勤務できる新しい雇用区分。</p> <p>様々な事情を抱えながらも、仕事との両立が実現できる環境づくりに取り組む。</p>

1	<p>ダイバーシティの推進</p>   	<p>■ 社内で「ダイバーシティ研修」を開催</p> <p>① 初心者向け「手話講座」(2019 年 2 月 7 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：27 人 ・講師：神奈川県視覚障がい者連盟講師 <p>② VR (ヴァーチャルリアリティ) 認知症体験会 (2019 年 3 月 5 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：92 人 ・講師：株式会社シルバーウッド VR 事業部 黒田 麻衣子氏
2	<p>障がい者の雇用の促進</p>  	<p>■ 特例子会社 ファンケルスマイル</p> <p>障がいのある方の自立支援を目的に、1999 年 2 月、特例子会社株式会社ファンケルスマイルを設立。障がい者を社会的弱者として守るのではなく、一人の社会人として、「自立」できるよう支援することを目的とした雇用を推進している。メンバーは、ファンケル製品の包装業務や、キャンペーン製品のセット、ダイレクトメールの発送など、グループ内での業務でも力を発揮している。</p>
3	<p>障がい者への自立支援</p>  	<p>■ 事業を活かした社会貢献活動「ファンケルセミナー」を開催</p> <p>1888 年より、身だしなみやメイクを教える「ファンケルセミナー」(無料)を、特別支援学校や高齢者施設などで開催。講師は従業員が務める。</p> <p>【2018 年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員ボランティア数 215 人

3	<p>障がい者への自立支援</p> <div data-bbox="344 277 479 413"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  </div> <div data-bbox="344 432 479 568"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>セミナーの種類</th><th>対象</th><th>実施回数 合計 163 回</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身だしなみセミナー</td><td>特別支援学校に通う方 就労支援所に通う方</td><td>67 回 19 回</td></tr> <tr> <td>シニアいきいきメイクセミナー</td><td>60 歳以上の方</td><td>39 回</td></tr> <tr> <td>視覚障がい者向けメイクセミナー</td><td>視覚障がいのある方</td><td>28 回</td></tr> <tr> <td>メイクサービス、職業体験など</td><td>-</td><td>10 回</td></tr> </tbody> </table>	セミナーの種類	対象	実施回数 合計 163 回	身だしなみセミナー	特別支援学校に通う方 就労支援所に通う方	67 回 19 回	シニアいきいきメイクセミナー	60 歳以上の方	39 回	視覚障がい者向けメイクセミナー	視覚障がいのある方	28 回	メイクサービス、職業体験など	-	10 回
セミナーの種類	対象	実施回数 合計 163 回															
身だしなみセミナー	特別支援学校に通う方 就労支援所に通う方	67 回 19 回															
シニアいきいきメイクセミナー	60 歳以上の方	39 回															
視覚障がい者向けメイクセミナー	視覚障がいのある方	28 回															
メイクサービス、職業体験など	-	10 回															
4	<p>外部表彰</p> <div data-bbox="344 748 479 884"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  </div> <div data-bbox="344 903 479 1038"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div>	<p>■「ファンケル身だしなみセミナー」が、「平成 30 年度青少年の体験活動推進企業表彰 大企業部門 審査委員会奨励賞」を受賞（2019 年 2 月 20 日）</p> <p>【受賞内容】</p> <p>ファンケル身だしなみセミナーは、社会貢献活動の一環として、長年優れた実践をあげている活動として、評価された。</p> <p>・主催：文部科学省</p>															

ガバナンスの強化【G】

- ＜方針＞ ・経営の透明性、客観性の向上
・株主、投資家との対話を強化、株主還元の強化

項目		取り組み内容
1	次世代経営層の育成	<p>■ 創業者池森賢二が講師を務める「池森塾」で、次世代経営層を育成</p> <p>2013 年度より、池森が経営者としての着眼点や発想力、判断基準について講義を行うほか、新規事業のアイデアのディスカッションなどを実施。受講生（10 名程度）は、2 年間の研修プログラムを通じて、経営者としての視点を学ぶ。</p>
2	コンプライアンスの強化	<p>■ 2018 年 3 月「広告表現検討部会」を発足</p> <p>部会にて、広告全般の表現について、適正な広告が実施できるよう審査。 また、社内の偏った審査とならないよう、必要に応じて外部の有識者へのヒアリングを実施している。</p>
3	指名・報酬委員会の設置	<p>2018 年度から、新たに、社外取締役を構成員に含む任意の「指名・報酬委員会」を設置し、経営の透明性・客観性を高めている。</p>
4	役員報酬制度の見直し	<p>2018 年度から、取締役報酬に加え、業績連動型の報酬を新たに付与。 併せて、任意の「指名・報酬委員会」を新設し、役員候補の指名及び役員報酬の決定に、独立社外取締役が主体的に関与し、手続きの公正性、透明性及び客観性を確保する。</p>
5	株主還元の強化	<p>2018 年度から配当金額の決定にあたり、新たに DOE（純資産配当率）を基準に取り入れ、業績動向に応じた利益配分かつ安定的な配当を実施している。</p>

6	株主、投資家との対話を強化	<p>■開かれた「株主総会」の開催（2018年6月23日）</p> <p>「開かれた株主総会」をめざし、集中日を避け、株主様が出席しやすい土曜日に開催。総会後の懇親会では、役員、従業員が直接、株主様とのコミュニケーションをとっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席株主数：4,721人 ・同伴者数：486人 ・従業員の協力：393人 <p>■個人投資家、機関投資家・アナリストとの対話</p> <p>IR活動において、直接対話ができる、個別取材を最重要視している。</p>
---	---------------	---